



↑ 三井嬉子理事長より認証状を受け取る荒井進会長

2006年7月7日スペシャルオリンピックス日本・山形は、日本で第31番目の地区組織としてスタートしました。

かねてから準備を進めていたスペシャルオリンピックス日本・山形は、本部から三井嬉子理事長をお迎えして、山形県勤労者福祉センター4Fにおいて設立総会を開催、眞木事務局長より設立までの経過報告がなされたあと、会則・事業計画・収支予算等、原案通り承認されました。

このあと三井理事長の「私のボランティア活動とスペシャルオリンピックス」と題された講演があり、設立パーティも和気あいあいの雰囲気の中で開催され終了しました。

↓ 下記のプログラムを参照ください

一 設立までの経緯と今後の抱負一

スペシャルオリンピックス日本・山形設立の機運は、2004年10月30日「500万人トーチラン山形」の開催で、一気に盛り上がりました。山形県勤労者福祉センターに拠点を構え、同年12月24日第1回発起人会を開催し本格的に始動。翌05年4月から山形で水泳とボウリングのプログラムを相次いでスタートさせ、続いて鶴岡でもフロアホッケーを皮切りに4種目が始まり複数地区での活動条件をクリアしました。

このような経緯を経て多くのボランティアと施設提供協力団体、賛助会員の強力なバックアップのもと、スタートする事が出来ました。100名のアスリートでのスタートですが、現在、プログラムの種目数増加と支部拡大のため積極的に広報活動を展開しております。

県内全域にSON山形旋風を巻き起こして周知をはかり、心のバリアフリー実現に向け、「小さく産んで大きく育てる」を合言葉に、Let's Go!!

※ 参考 発足時の会員数

- ファミリー会員 (100名)
- ボランティア会員 (88名)
- コーチ会員 (14名)
- 個人賛助会員 (150名)
- 企業・団体会員 (57団体)

〒990-0039 山形市香澄町二丁目9番40号

(山形県勤労者福祉センター1F)

TEL&FAX(023)632-3430

プログラム

<第1部> 総会 15:00~16:20

1. 開会のあいさつ
2. 代表あいさつ
3. 本部長あいさつ
4. 来賓あいさつ
5. 議長選出
6. 議事
 - ① 設立までの経過報告
 - ② 地区組織会則(案)承認の件
 - ③ 役員選任(案)承認の件
 - ④ 2006年度事業計画(案)承認の件
 - ⑤ 2006年度収支予算(案)承認の件
 - ⑥ その他
7. 閉会のあいさつ

<第2部> 講演 16:20~17:20

講師：スペシャルオリンピックス日本
理事長 三井 嬉子 氏

<第3部> 設立パーティー 17:30~19:00

1. 開会のあいさつ
2. 会長あいさつ
3. 来賓祝辞
4. 乾杯
～祝宴～
5. 万歳
6. 閉会のあいさつ





↑ 来賓祝辞